



産直ニュース（農・畜・水産）15週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*よやく・る 果物類のお届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
15週	木成りはっさく③					甘夏④			
	いちごB登録(三次)			うすいえんどう(!)		筍(孟宗竹)(!)		三次予約いちご②	
16週	木成りはっさく④					河内晩柑①		パイナップル(ボゴール)①	
						いちごA登録(三次)		三次予約いちご③	
17週						河内晩柑②		パイナップル(ボゴール)②	
						いちごB登録(三次)		三次予約いちご④	
18週						河内晩柑③		パイナップル(ボゴール)③	
						いちごA登録(三次)		三次予約いちご⑤	

*(!)は調整の可能性有ります。 *カタログ注文青果は除きます。

お知らせ 産地情報

■うすいえんどう(山本農園G)

うすいえんどうの収穫が始まりました。これまでもお伝えしていますが、1月の積雪の影響は想定以上に大きく、その後の生育に大きなダメージとなっています。1月24日に積もった雪が翌日の気温低下により凍結してしまった為に、それまで順調に成長していた部分がほぼ死んでしまった状態となりました。生産者の山本さんはそれでも諦めずに、新たな脇芽を生育させる事により収穫量の確保を目指しました。

ところが、生育が止まってしまった部分が風通しを悪くしたり、雨が影響したりで尻腐れ病や灰カビ病が発生しており、収穫が始まった今も病気の広がりや止まらない状況です。今シーズンは過去経験のない最悪の生育状況となっており、収穫量は例年の70%減となる勢いです。選別にもかなりの時間を要しており、収穫したものの4割が届けられない状況です。

今週は、注文数の約半分をお届けする事が精一杯の状況でした。

残りあと半分！天気は？雨が降ったら病気が更に広がってしまう！無事に届けられるだろうか？山本さんは毎日ひやひやしながら作業を続けています。

*上記状況により、豆のサヤに黒い汚れが目立っています。中身に影響のないものは規格内としてお届けしておりますのでご理解ご容赦をお願いします。

*今シーズンは企画週を1週(例年2週)として取り組み、注文数は約2500pです。(前年は約4100P)



■河内晩柑の生育状況

河内晩柑の生育地では1月に低温となる日がありました。低温や凍結などの被害はすぐに症状が出ず、4月頃になって被害が徐々に発生し始めました。現在、被害報告があったのは以下の生産者です。

よやく・る 河内晩柑 西日本ファーマーズユニオン(愛媛県・無茶々園)

標高の高い園地が被害を受けており、次々に落果しています。受注状況が確定後、もう一つの生産者の熊本県、佐伊津有機農法研究会で減収分の出荷調整を行います。

カタログ企画 河内晩柑 2kg 熊本県・肥後あゆみの会

16週カタログ、20週カタログに掲載しますが、樹の上部で果肉の水分が抜ける「すあがり」の症状が発生しています。予定を下回る収穫量となる見通しです。20週カタログに2kg規格で掲載していますが、受注数や収穫状況によっては規格を変更してお届けする場合があります。